

音楽科学習指導案

平成15年10月8日(水) 4校時(視聴覚室)

第1学年 男子16名

指導者 松尾 幸輝

1 題材

「五ツ太鼓に親しもう」

2 題材設定の理由

当初、出水地区で郷土の素材を探す予定であったが、なかなか良い教材を探すことができなかった。あるとき、自分にとってもなじみの深いお隣の宮之城町で「五ツ太鼓」の練習風景に出合った。決して身近とはいえないが、江戸時代からつづく「五ツ太鼓」が生まれた過程を知り、実際に触れてみることで、自分たちの身の回りにある伝統音楽や伝統芸能に興味をもつきっかけになるのではないか。また、「五ツ太鼓」のメンバーに話を聞き、指導してもらうことでさらに関心が高まるのではないか。これらのことを考え、題材を設定した。

3 指導目標

- (1) 「五ツ太鼓」が生まれるまでの過程や現在にいたるまでの経緯を知り、関心を高める。〈音楽への関心・意欲・態度〉
- (2) 簡単な創作を通し、個性豊かな表現の能力を伸ばす。〈音楽的な感受や表現の工夫〉
- (3) 「五ツ太鼓」の基本的なリズムを覚え、奏法を身につける。〈表現の技能〉
- (4) 指導者の模範演奏やVTRを鑑賞し「五ツ太鼓」の特徴や良さを感じ取る。〈鑑賞の能力〉

4 観点別評価規準

- (1) 「五ツ太鼓」の由来や特徴に関心を持ち、意欲的に活動している。〈音楽への関心・意欲・態度〉
- (2) 基本的なリズムと独自のリズムを効果的に使い、曲に合うように工夫している〈音楽的な感受や表現の工夫〉
- (3) 3種類の基本的なリズムを理解し、正しい奏法で演奏することができる。〈表現の技能〉
- (4) 特徴的なリズムや他の楽器との音の重なり合いを感じ取ることができる。〈鑑賞の能力〉

5 教材

「五ツ太鼓」

「出水音頭」

6 指導計画

	目 標	評 価 規 準
第1時 (本時)	・「五ツ太鼓」の由来や特徴を理解し、基本的な奏法を身につける。	(1), (3), (4)
第2時	・グループごと「出水音頭」に合うようにリズム創作をする。	(2), (3)
第3時	・グループで創作したものを発表する。 ・身近にある郷土の音楽について考える。	(3), (4)

7 本時の実際

時 (分)	学 習 内 容	指導上の留意点と評価の観点
5	○指導者の演奏を鑑賞する。 本時の学習内容を理解する。	○指導者を紹介する。 ○聴く雰囲気をつくる。 ●関心を持って鑑賞できたか。評価基準(4)
10	○「五ツ太鼓」について知る。	◇資料を配る。 ○「五ツ太鼓」の由来から現在にいたるまでを指導者に話してもらう。 ○メモをとりながら聞くように促す。 ○外国の楽器であるドラムセットを例に挙げて話をする。 ●「五ツ太鼓」の由来について理解し興味・関心をもてたか。評価基準(1)
25	○基本的なリズム・奏法を知る。 ・3種類のリズムの練習 トコトン・トコトントン トーントントン ・立ち方, たたき方 ・曲の一節のリズム練習	◇撥を配る ○期間巡視しながら必要に応じて助言をする。 ○一人一回は楽器でたたけるようにする。 ●リズム・奏法を理解してたたくことができたか。 ●周りに合わせてたたくことができたか。 評価基準(3)
10	○本時の感想をまとめる。 ○次時の予告をする。	○本時の授業で感じたことや指導者へのお礼のメッセージなどを自由に書くよう促す。